

▶ 事業方針

当金庫は、社会の環境変化に的確に対応し、安定経営を維持するとともに、協同組織の福祉金融機関として、会員やお客様から信頼され、必要とされる金融機関をめざして事業を展開してまいります。

労金運動の基盤強化と利用者拡大

- ◆ 労金運動の再構築に向けて、会員推進機構との連携を深めることを目的として、「ろうきん笑顔プロジェクト」の展開や各種セミナーの開催など、相互扶助の輪を会員組織内に定着・拡大させる取組みを展開します。
- ◆ 勤労者の生活安定と福祉向上に向けた労金本来の役割を發揮するとともに、働く人たちが安心して暮らすことのできる共生社会の実現に貢献します。
- ◆ 「生涯伴侶宣言」のもと、働く人とそのご家族の笑顔と安心のために全力を尽くす福祉金融機関であることを強くアピールしながら、勤労者家計の取引メイン化を進めるとともに、退職者等高齢者への金融サービスの充実をはかるなど、生涯取引の推進に向けた取組みを強化します。
- ◆ 当金庫の事業や運動が県内の勤労者から共感され、さらに多くのお客様からのご利用につながるができるよう、「ろうきんの理念」やお客様からの意見などを踏まえ、当金庫の強みや存在価値を明確化し、広く発信します。

安定経営の維持とお客様サービスの向上

- ◆ 金融緩和による市場金利の低下により資金収益が減少し、収益面においてこれまで以上に厳しい環境となることから、適正利益を安定的に確保するため、与信信用リスクおよび金利リスクを適切に管理しながら、商品企画力を高めて収益の拡大につとめます。
- ◆ お客様から信頼され、必要とされる金融機関であり続けるため、職員の相談能力向上と提案力強化につとめるとともに、窓口担当者と渉外職員が一丸となった営業店相談態勢の充実・強化をはかります。

内部管理態勢の強化

- ◆ お客様からの信頼は、正確・迅速な事務処理が基本であることを深く認識し、職員一人ひとりが基本事務を遂行する堅確な事務処理態勢を構築するとともに、金融円滑化管理態勢、法令等遵守態勢、顧客保護等管理態勢、各種リスク管理態勢等、内部管理態勢の充実・強化をはかります。
- ◆ 会員事務・営業店事務の効率化の観点から、ろうきんダイレクトやインターネットバンキング（団体向け）の推進に取り組むほか、システムを最大限活用することにより事務リスクを低減するなど、事務改革の取組みを推進します。
- ◆ 県内勤労者およびNPOなどの資金ニーズに積極的に対応し、労金本来の役割を發揮するため、与信信用リスクを適切にコントロールした融資審査態勢および債権管理態勢の充実・強化につとめます。
- ◆ 多様なコミュニケーションや協力関係を築くことができる職員の育成を目指して、「人材育成基本計画」に基づく職員教育を進めるほか、コンプライアンスの重要性を再確認し、法令等遵守に係る職員教育を実施します。